
リトルバスターズ×遊戯王

朱鳳鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リトルバスターズ×遊戯王

【Nコード】

N7706Z

【作者名】

朱鳳鈴

【あらすじ】

僕は、いつまでこの流れに乗ればいいのか？

死ぬまで？それとも遊戯王世界大会で優勝するまで？それともあと知れず幻想郷へ行くまで？

まあどこにでもいい、そうどこにだって、今この状況をどうにかできるならどこにだって僕には、もう世界なんてどうでもいいものになったのだから・・・。

第0話 転生者？（前書き）

あなたは人間ですか？

いいえ、転生者です。

あと、バカです。

第0話 転生者？

アナウンサー「FC大会決勝戦の幕開けだあ」
スタンディングデュエル

観客「うわ~~~~~」

ざわざわざわざわ

アナウンサー「まずは、前大会優勝者不動遊星の登場だあ」

観客「うわ~~~~~」

ざわざわざわざわ

遊星「……………。それじゃ行ってくる。皆」

チーム5Dの人たち「おう。」「頑張ってください」「かんばれー
遊星」

アナウンサー「対しますは、全大会2位と3位のクロウボーガンと
ジャックアトラスを奇跡の逆転で勝利し、今大会初の参加者でもあ
り、ついたあだ名は”奇跡の魔術師”霧雨葵さんだあ」

葵（あの人が、不動遊星さんか、アニメで見るよりすごい本当に蟹
ヘッドだなあ）

遊星「いいデュエルをしよう」

葵「はい、よろしく願います」

アナウンサー「さて両者、デッキをシャッフルし終わりました。そ

れではFC大会決勝戦デユエ~~~~ル開始~~~~」

遊星「先行は挑戦者の君からだ」

葵「はい、僕のターンドロ」

第0話 転生者？（前書き）

言い忘れましたが、今回の物語は、走馬灯みたいなものです。そのため、意味が分からないこともあります。

第0話 転生者？

葵「はい、僕のターンドロー」

(緊張するーでもいつも道理やれば)

「僕は、モンスターセットしてターンエンド」

(どうせ最初のターンだ。遊星さんのデッキはもうわかっている。でもあの人のことだ！ターン目からあのモンスターを出すに決まってる)

葵 手札5枚 LP4000

遊星「俺のターンドロー。」

俺は、「スピードウォリアー」を召喚「

スピードウォリアー

効果モンスター

星2 / 風属性 / 戦士族 / 攻 900 / 守 400

遊星の場に、戦士族モンスターというより機械族モンスターに近いモンスターが召喚された」

葵(やはり1ターン目は、そのモンスターですか。アニメ道理だあ)

遊星「バトル。」スピードウォリアー」でセットモンスターに攻撃！この瞬間」スピードウォリアー」の効果発動召喚したターンのバトルフェイズ中このモンスターの攻撃力は2倍となる。よって攻撃力は1800だ。

いけ、”スピードウォリアー” ソニックエッジ！！”

葵（リバーズ効果に気にせずきますか。でもその程度は読んでました。）

「僕のセットモンスターは、”見習い魔術師” その守備力は800です。」

よってこのモンスターは戦闘破壊ですが、この瞬間に先ほど破壊された”見習い魔術師”の効果発動デッキから 2以下の魔法使いモンスターをセットします。

これにより僕は、2体目の”見習い魔術師”をセットさせてもらいます」

見習い魔術師

効果モンスター

星2 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻 400 / 守 800

遊星「俺は、カードを2枚伏せターンエンド」

遊星 手札3枚 LP4000

葵「僕のターン、ドロー。」

（僕の記憶違いじゃなきゃ遊星さんのデッキに単体除去系の罠つまり”次元幽閉”や”炸裂装甲”みたいなカードないはずでもさすがに、”ブラックホール”や”激流葬”、”聖なるバリアーミラーフォース”ぐらいは警戒しないといけないよね。）

「僕は、”サイレントマジシャンLv4”を召喚します」

葵の場に白服の女の子が登場した。うんやっぱかわいいよね。

サイレントマジシャンLv4

効果モンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1000 / 守1000

葵「さらに、僕はセットモンスター”見習い魔術師”を反転召喚します。その時この子の効果が発動、自分フィールド上の魔力カウンスターが乗るモンスターに魔力カウンターを乗せます。

これにより”サイレントマジシャン”に魔力カウンターを1つ載せます。そして魔力カウンターが乗ったとき”サイレントマジシャン”の効果も発動このモンスターは魔力カウンター1個につき攻撃力を500ポイントあげます。この子の今の攻撃力は1500です」

この二つの効果が発動したとき、”見習い魔術師”は、”サイレントマジシャンLv4”の肩に杖を乗せ呪文を唱えた。で、一方の”サイレントマジシャンLv4”は少し成長した。

葵「僕は、このままバトルフェイズに入ります。まず”サイレントマジシャン”で”スピードウォリアー”に攻撃します。

沈黙の魔弾（サイレントマジックLv4・5）」

遊星「くっ!」

サイレントマジシャンLv4 ATK1500 VS スピード

ウォリアー ATK900

1500 - 900 = 600

遊星 LP4000 - 600 = 3400

アナウンサー「なんとー遊星が最初にダメージを受けたー」

葵（よし、先制ダメージゲット・・・ノーダメージだけは防げたホントに良かった遊星さん相手にならノーダメージとかなりえたからこわかったんだよねあゝ・・・）
つてまだ油断はできないか）

「さらに、”見習い魔術師”でダイレクトアタック!!」

遊星「その攻撃は、通させない。リバースカードオープン罠カード”エンジェルリフト”発動。このカードは墓地から2以下のモンスター1体を場に特殊召喚するカード、よって効果で、さつき破壊された”スピードウォリアー”を召喚する」

葵（蘇生系罠カードでしたか、どうするここで”見習い魔術師”で攻撃して新たなモンスターをセットするか、しないか?・・・ダメージが少ないほうにけるか）

「僕は、攻撃を中断せず、出てきたモンスターに攻撃します」

見習い魔術師 ATK400 VS スピードウォリアー ATK
900
400 - 900 = -500
葵 LP4000 - 500 = 3500

葵「そして、”見習い魔術師”が戦闘破壊されたので効果発動し、デッキから3枚目の”見習い魔術師”をセットします。
メインフェイズ2に移り、カードを2枚伏せターンエンドです」

葵 手札3枚 LP3500

遊星「俺のターン、ドロー」

葵「この時”サイレントマジシャン”の効果発動です。相手がドロ
ーしたときこのモンスターにカウンターを1つ載せます。
そして、このモンスターにはカウンターが2個になり攻撃力は20
00ポイントです」

遊星「なるほど、そのモンスターはこつちがドローすることに魔力
カウンターが乗るか……。俺は手札から魔法カード”ワンフォー
ワン”を発動。この効果で手札のモンスター1枚を切りデッキから
1のモンスターを特殊召喚する。俺は手札のモンスターを1枚切
ってデッキから”チューニングサポーター”を守備表示で特殊召喚
！」

チューニングサポーター

効果モンスター

星1 / 光属性 / 機械族 / 攻 1000 / 守 300

遊星「手札から”ジャンクシンクロン”を召喚、そして効果発動、
墓地に存在する 2 以下のもんすたーを1体蘇生しるこの時そのモ
ンスターの効果は無効となる。

よって俺はさつき捨てた”ポルトヘッジホッグ”を守備表示で特殊
召喚」

ジャンクシンクロン

チューナー（効果モンスター）

星3 / 闇属性 / 戦士族 / 攻 1300 / 守 500

ポルトヘッジホッグ

効果モンスター

星2 / 地属性 / 機械族 / 攻 800 / 守 800

遊星「俺は、”チューニングサポーター”に”ジャンクシンクロン”をチューニングこの時、”チューニングサポーター”の効果発動このモンスターはシンクロ召喚に使用する際、星を2として扱うことができる！」

よって”サポーター”の星を2とする。行くぞ」

すると遊星の場のモンスター1体が輪になり、もう片方の周りを回遊し始めた。そして急に閃光があらわれ・・・

葵（来る、遊星さんの相棒カードが）

遊星「集いし星が新たな力を呼び起こす。光さす道となれ！シンクロ召喚！いでよ、”ジャンク・ウォリアー”！」

その閃光の中からこれでも戦士族といえるのか？というモンスターが現れた

アナウンサー「来たー、遊星の第1の切り札”ジャンクウォリアー”がとうじょうだあ〜」

ジャンクウォリアー

シンクロ・効果モンスター

星5 / 闇属性 / 戦士族 / 攻2300 / 守1300

遊星「”ジャンクウォリアー”がシンクロ召喚に成功した時、効果発動！自分フィールド上の2以下のモンスターの攻撃力分だけ攻撃力がアップする！パワー・オブ・フェローズ

さらにこの効果に俺はチェインするが何かあるか？」

葵「何もないです」

(まさか、あのカードか・・・)

遊星「なら墓地に送られた。”サポーター”の効果発動、このモンスターがシンクロ召喚に使用されたときガードを1枚ドロウする効果が発動。さらに、リバーズカードオープン罫カード”星蝕レベルクライム”を発動する。このカードはシンクロモンスターが召喚された時発動し、そのモンスターの星のレベルにし攻守0のトークンが出てき、そのモンスターも星を1にする」

葵(ですよね)

遊星「チェーン処理だ！まず、”レベルクライム”で”ジャンクウオリアー”のを1にする。そしてトークンを守備表示で特殊召喚！」

星蝕トークン

魔法使い族・闇・星X・攻/守0

遊星「次の効果”サポーター”の効果で、1ドロウ、”ジャンクウオリアー”の効果これにより”ジャンクウオリアー”の攻撃力は6300になる」

葵「攻撃力が6300ですか・・・。ですが、遊星さんあなたはカードをドロウしたため”サイレントマジシャン”の効果でカウンターが1つ乗ります。よって攻撃力は、2500です」

遊星「だが、攻撃力はこっちのほうが上だ。バトル、”ジャンクウオリアー”で”サイレントマジシャンLv4”に攻撃 スクラップ・フィスト !!!」

アナウンサー「この攻撃が決まればー遊星の勝ちだあ、葵選手はどう出る？」

葵「ふふ、そう来なくちゃ面白くありません。僕は……」

葵は、不敵に笑いながら、サイレントマジシャンの戦闘破壊を見送った……。

第0話 転生者？（後書き）

さて、とりあえずこんな終わり方をしてみた。

すこしは小説ぽくなっただろうか？

あと、もしかしたら、チエーンの順番がおかしいかもしれません。

次回

葵は、どのように、遊星の攻撃をかくぐるのか？

にしてもクリスマスは暇だったぜ！

第0話 転生者？（前書き）

前回までのフィールド

遊星のフィールド

モンスター

スピードウォリアー 攻撃表示

ボルトヘッジホッグ 守備表示

ジャンクウォリアー 攻撃表示

伏せカード

0枚

手札2枚

LP 3400

葵のフィールド

モンスター

伏せモンスター（見習い魔術師）

伏せカード

1枚

手札3枚

LP 3500

第0話 転生者？

葵「ふふ、そう来なくちゃ面白くありません。僕は……
ダメージステップ時、手札から”クリボー”の効果発動！この子は
手札から墓地に送ることができその時発生した戦闘ダメージを0に
します」

クリボー

効果モンスター

星1 / 闇属性 / 悪魔族 / 攻 300 / 守 200

アナウンサー「おくと、なんと葵選手一撃を交わしたー」

葵（サンキュウです。”クリボー”）

遊星「なるほど、君もただのデュエルリストではないようだね。な
ら”スピードウォリアー”でセットモンスターを攻撃！
スニックエッジ！」

葵「破壊された、”見習い魔術師”の効果発動。デッキから……

「（向こうの世界なら”執念の老魔術師”何だけどあのカードは、昨
日のデッキ編集で除けたからいい……。ならこの子でいいよ
ね）」

「僕は、”水晶の占い師”をセットします」

遊星「”執念”じゃないのか……。ならおれはカードを1枚セッ
トしてターンエンド」

遊星 手札1枚 LP3600

葵「僕のターンです。ドロ」

（さっきのターンは適当に乗ってみたのですが、危なかったです。まあ、実のところふせカードをつかうのもよかったですけど、どうせなら僕の相棒を使ったほうが楽しいし、なおかつ面白い）

「僕はセットモンスターの”水晶の占い師”を反転召喚！この時リバース効果発動。この子の効果でデッキの上からカードを2枚めくります。とりあえず1枚目は、”マジシャンズサークル”2枚目は、”カオスソーサラー”で、このうち1枚を手札に、1枚をデッキの下に置きます。」

僕は、”カオスソーサラー”を選択します。”サークル”デッキアンダーに、さらに手札から装備魔法カード”ワンダーワイド”を”水晶”に装備させます」

水晶の占い師 ATK100 600

遊星「そのモンスターにそのカードを……。なるほど君の目的は手札補充か」

葵「はい」

（よかつた、サイクロンじゃなくて）

「このカードは魔法使いの攻撃力を500あげさらに、このカードと装備したモンスターを墓地へ送ることによってカードを2枚引けます。これにより2つめの効果で”水晶”と”ワンダーワンダー”を墓地へ送り、デッキから2枚ドロします」

（よし、これなら”サラ”を除去されない）

「僕は、墓地にいる”見習い魔術師”（闇属性）と”サイレントマジシャンLv4”（光属性）2体をゲームから除外し、手札から”

カオスソーサラー”を攻撃表示で特殊召喚!”

カオスソーサラー

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2300 / 守2000

遊星「くっ!」

葵「特に無いようですね、なら”サラー”の効果発動、相手フィールド上モンスターを1体をゲームから除外できます。このより、”ジャンクウォリアー”を除外します。」

その代りこの子は、効果を使用したため攻撃することはできません、なので僕はカードを1枚伏せターンエンドです」

葵 手札4枚 LP3500

遊星（”カオスソーサラー”・・・早めに除去しないと結構厳しいモンスターだ）

「俺のターン、ドロー。」

俺は、モンスターをセット、”スピードウォリアー”を守備表示に変更してターンエンド」

遊星 手札1枚 LP3600

葵「僕のターンです。ドロー。」

メインフェイズ”サラー”の効果で”ボルトヘッジホッグ”を除外します。そして手札から”召喚僧サモンプリースト”を召喚します。この子は召喚した時守備表示になります。さらにへ手札の魔法カードを切ることでデッキから4のモンスターを特殊召喚できます。ただしそのモンスターはこのターンの間攻撃できません。」

召喚僧サモンプリースト

効果モンスター（準制限カード）

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻 800 / 守 1600

葵「手札の”強欲で謙虚な壺”を墓地へ送りデッキから、”ヴァイロンプリズム”を攻撃表示で特殊召喚！」

ヴァイロンプリズム

チューナー（効果モンスター）

星4 / 光属性 / 雷族 / 攻 1500 / 守 1500

遊星「なるほど、チューナーモンスターならシンクロにデメリットなしというわけか」

葵「はい、行きますよ〜。4”召喚僧サモンプリースト”と4

”ヴァイロンプリズム”をチューニング！！

漆黒に包まれし闇の竜よ。今、暗黒の扉が開かれる！シンクロ召喚！闇に包め”ダークエンドドラゴン”！！」

アナウンサー「出たー！、葵選手の切り札、”ダークエンドドラゴン”このモンスターを遊星はどのように切り崩す・・・」

ダークエンドドラゴン

シンクロ・効果モンスター

星8 / 闇属性 / ドラゴン族 / 攻 2600 / 守 2100

葵「そして、フィールド上から墓地に送った”ヴァイロンプリズム”の効果発動、ライフを500ポイント払うことで、このカードは装備カード扱いとなり、自分フィールド上のモンスターに装備、こ

のモンスターが戦闘する際ダメージステップ中1000ポイント攻撃力がアップします。

よって効果によりライフ500ポイント払い、”ダークエンド”に装備させます」

葵 LP3500 - 500 = 3000

葵「そして”ダークエンド”の効果発動このモンスターの攻・守を500ポイントさげ相手モンスター1体を墓地へ送ります。この効果で伏せモンスターを墓地に送ってもらいます。ダーク・イヴァーポレイション」

それ効果で、遊星の場の伏せモンスターは、姿を現すことなく闇へと消えた。

ダークエンドドラゴン

ATK2600 DEF2100 1600

葵「バトルフェイズ、”ダークエンド”で、”スピードウォリアー”に攻撃。ダークフォッグ

そして、カードを1枚伏せて、ターンエンド」

(ここまでしておいたが、なぜだろうフィールドは僕のほうが圧倒的なのに勝てる気がしないのは・・・)

葵 手札2枚 LP3000

アナウンサー「遊星ピンチだ！相手フィールド上には2000級のモンスターが2体と伏せが3枚。この逆光をどうひっくり返すのか――」

遊星「俺のターン、ドロー」

すると遊星は、笑った。そう笑ったのだった……。。

第0話 転生者？（前書き）

前回までのフィールド

遊星

モンスターなし

魔法トラップゾーン
1枚

手札1枚 LP3600

葵

モンスター

カオスソーサラー

ダークエンドドラゴン（効果1回だけ使用）

伏せ3枚

手札2枚 LP3000

第0話 転生者？

遊星「俺のターン、ドロー」

葵（何です。あの笑みは、というかあまりいい予感はありませんが・・・）

遊星「俺は、モンスターを伏せターンエンド」

遊星 手札1枚 LP3600

葵「僕のターンです。ドロー」

（あの笑みには絶対何かあります。が今の手札では相手モンスターを破壊できても伏せカードを破壊することはできない。

だからといって攻めないという選択肢は、僕にはありません。）

葵「僕は、”ダークエンド”の効果発動します。攻・守を500さ
ら」

遊星「その必要はない。手札のエフェクトベーターの効果発動。このモンスターは、手札から墓地に送ることで発動します。相手モンスター1体を選択し、その効果を無効にできる」

葵「なっ！」

遊星が効果説明をすると同時に葵のフィールド上の”ダークエンドドラゴン”の頭上に遊星のモンスターである”エフェクトヴェエーダー”が飛んで青い色のした魔法のバールを振りかざしていた。

葵「だけど、効果が無効になったため攻撃力は元の数値に変動します」

遊星「ああ」

ダークエンドドラゴン 攻撃力2600 守備力2100 (無効になったため攻撃力はそのままになります。たぶん……)

葵(攻撃力が変動してもなんとも思わないということは、あの伏せカードと伏せモンスターはたぶんあのカード達でしょう。ですが、その程度のこと僕は読んでます)

葵「なら僕は、” 熟練の黒魔術師 ” を召喚します」

熟練の黒魔術師

効果モンスター

星4 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻1900 / 守1700

黒服のモンスターが現れた。与えていうなら” ブラックマジシャン ” が黒服を着た感じだとたとえられるだろうか。

葵「バトルフェイズ。まずは、” 塾黒 ” でセットモンスターを攻撃します」

遊星「セットモンスターは、” メタモルポッド ” だ、互いのプレイヤーは手札を捨てて5枚ドロウするが俺は手札0だから5枚ひくだけだ」

メタモルポット

効果モンスター (制限カード)

星2 / 地属性 / 岩石族 / 攻 700 / 守 600

葵「僕は2枚ですので、2枚とも捨てます」

葵・遊星「ドロー」

葵（よし、これでもOKだ。ホントは、”メタポ”は除去されたけど、攻撃力が下がるから使わなかって正解だったよ。それに、あの伏せカードがもし予想したカードだったら遊星さんのことだから確実に引くだろっから使わなくて正解だと思うし）

「僕は、”サラ”と”ダークエンド”でダイレクトアタックします」

遊星「俺は、”サラ”の攻撃は受ける」

遊星 LP3600 - 23000 = 13000

遊星「が、”ダークエンド”に対しては、リバーズカード発動だ。畏カード”ガードブロック”発動！このカード効果により戦闘ダメージは0にし、カード1枚ドロー！」

葵「甘いです。自分フィールド上に魔法使い族モンスターがいるため、リバーズカードオープン魔法カード”デイメンションマジック”発動！僕は、場の”熟練の黒魔術師”をリリースして手札から”ブラックマジシャンガール”を特殊召喚です。で、”デイメンション”には破壊効果もありますが、遊星さんの場にいらないので発動しても自分のモンスターが犠牲になるので、やりません」

すると葵の場のモンスターが棺桶みたいのに入りその中から新たなモンスターが召喚された。

葵「まだバトルフェイズ中なので、”ガール”で攻撃です」
(通るかなあ〜)

ブラックマジシャンガール

効果モンスター

星6 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻2000 / 守1700

遊星「それも、通さない。手札から”速攻のカカシ”を墓地に送り効果発動。ダイレクトアック時このカードを墓地に置くことで、相手のバトルフェイズを終了させる」

速攻のカカシ

果モンスター

星1 / 地属性 / 機械族 / 攻 0 / 守 0

葵(ですよね〜)

「なら僕は、このまま何もせずターンエンドです」

葵 手札4枚 LP3000

アナウンサー「お〜っと遊星ピンチを乗り越えた〜。これはまだわからないぞ〜」

遊星「俺のターン、ドロ〜」。

俺は、手札から、魔法カード”調律”を発動する」

葵「そのカードは、使わせません。リバースカードオープンカウンター罠カード”マジックジャマー”発動です。コストにより手札1枚捨てそのカードの発動を無効です」

遊星の発動した。カードを防いだが遊星の顔は、そんなの気にしてない様子だった。

遊星「だろっな」

葵「はい？」

遊星「このカードは、**罠だ**」

葵「！！」

遊星「本命は、こつちだ。魔法カード発動、”貪欲な壺”」

葵「嘘でしょ」

遊星「何もないうだな。なら効果でこの5枚のカードを戻す」

遊星が見せたカードは、ジャンクシンクロン、スピードウォリアー、速攻のカカシ、エフェクトヴェーダー、そしてシールドウイングの5枚。

葵「なるほど、ダークエンドで墓地に送ったカードは、”シールドウイング”でしたか」

ちなみに、言い忘れていたが、デュエルディスクでのデュエル中裏側のままで破壊したモンスターは、自分で確認しない限りわからない。

だが、葵はそんなのしたくないとか言って今大会中1度も相手も墓地を見ていないあるカードを使うとき以外は・・・。

遊星「その後2枚ドロする」

葵（遊星さんの手札は6枚か……。やっぱり破壊すべきだったかなあ〜）

遊星「俺は、手札のモンスターカードを1枚墓地に送ることで、このカードは特殊召喚できる。俺はこの効果により”レベルステイラー”を墓地に置き”クイックシンクロン”を特殊召喚！」

葵（確かあのモンスターは”シンクロン”と名のついたチューナーの代わりになるモンスターでしたか？）

クイックシンクロン

チューナー（効果モンスター）

星5 / 風属性 / 機械族 / 攻 700 / 守 1400

遊星「さらに、墓地に送った”レベルステイラー”の効果発動！このカードは 5以上のモンスターのレベルを1つ下げることによって、特殊召喚できる。

この効果により、場の”クイックシンクロン”の を1つ下げて特殊召喚！」

レベルステイラー

効果モンスター

星1 / 闇属性 / 昆虫族 / 攻 600 / 守 0

遊星「このターンまだ俺は、通常召喚をしていない。手札から”チューニングサポーター”を召喚。

”チューンサポ”はシンクロするとき 2としても扱えるが今回は1

のままとする。いくぞ

1”チューニングサポーター”と”レベルステイラー”に 4
の”クイックシンクロン”をチューニング!!

集いし力が大地を貫く槍となる。光さす道となれ!シンクロ召喚!
砕け、”ドリル・ウォリアー”!!

チューナーモンスターは星の数だけの輪になり2体のモンスターが
その輪の中心に来るとモンスターが光り輝き新たなモンスターとな
った。

ドリルウォリアー

シンクロ・効果モンスター

星6/地属性/戦士族/攻2400/守2000

「ドリル・シンクロン」+チューナー以外のモンスター1体以上

遊星「その後、”チューニングサポーター”のこうかで1枚ドロ」
バトルフェイズ、”ドリルウォリアー”で”カオスソーサラー”に
攻撃!

ドリル・ランサー!!」

葵「くっ!!」

葵 LP3000 - 1000 = 2900

遊星「メイン2で”レベルステイラー”の効果で墓地から蘇生」

ドリル 6 5

遊星「さらに、”ドリルウォリアー”の効果発動、手札のカードを
1枚墓地に送り、このモンスターをゲームより除外し、次のスタン

バイフェイズ時に特殊召喚する。

そしてさっきの効果で、墓地に送った罫カード”リミッターブレイク”の効果発動。このカードが墓地に送られたとき、自分のデッキ、手札、墓地から”スピードウォリアー”を特殊召喚する。

この効果によりデッキから”スピードウォリアー”を守備表示で特殊召喚！

最後に、手札を2枚セットして、ターンエンド”

手札1枚 LP1300

葵「僕のターン、ドロー”

(通常召喚できない。というか5枚あってやることないってどうなのだろう。いやないわけではない使いどころをミスしたら結構しんどいだけなんですけど)

葵の手札は今こんな感じだった。

1枚目、強謙(2枚目) 2枚目、貪壺 3枚目、賢者の宝石 4枚目、ブラックマジック 5枚目、死者蘇生

葵(もし、ここで”賢者の宝石”を使いデッキから”ブラマジ”特殊召喚で”ブラックマジック”を使う。

がしかし遊星がもし”スタロ”を伏せていたら？結構しんどくなるかといって強謙を使う・・・いや待てあるこの方法で1番の最善策がだがかけるになる・・・こうなったらあつたつて砕けるだ)

「僕は、手札から魔法カード”強欲で謙虚な壺”を発動します。こうかですまず3枚めくりそのうち1枚を手札に加えます。ただしこのターン僕は特殊召喚できなくなりますしこのカードは1ターンに1度しか発動できません。よってこうかです3枚めくりまず。

1枚目、エフェクトヴェーダー

2枚目、”聖なるバリアーミラーフォース”

3枚目・・・」

(頼む来てくれ)

「・・・増援」

(よし、きた)

「僕は、3枚目の”増援”を選び、手札に加えます。そして魔法カード”増援”発動します。このカードは自分のデッキから4以下の戦士族を手札に加えます。よって僕は効果で、”終末の騎士”を召喚します。

さらに、召喚・反転召喚・特殊召喚に成功した時、この子の効果発動！

デッキから闇属性モンスター1体を墓地へ送ります。ぼくはこれによりデッキから”ブラックマジシャン”を墓地へ送ります」

すると終末の騎士はこっちを向きデッキの中のカードを1枚切り裂いた。

葵(この効果なんだけどなんだかもものすごいいやな気持なるのはどうしてだろう?)

終末の騎士

効果モンスター

星4/闇属性/戦士族/攻1400/守1200

葵「墓地に”ブラマジ”が落ちたことにより、”ガール”の効果発動、このカードは、”ブラックマジック”か”ブラックオブカオスマジシャン”1体につき300ポイント攻撃力がアップします。

よって今”ガール”の攻撃力は2300ポイントです」

するとブラックマジシャンガールの後ろにブラックマジシャンの姿がうつすらと浮かび上がった。

葵「まだまだです。”ダークエンド”の効果発動です。効果で、スピードウォリアー”を選択します！
やってください、”ダークエンド”！ダーク・イヴァポレイション」

そして再び現れる闇の落とし穴が”スピードウォリアー”を飲み込んでいった。

葵「バトルです。まず、”終末の騎士”で”ステイラー”に攻撃です」

終末 ATK 1400 VS ステイラー DEF 0
ステイラー 戦闘破壊

葵「次に、”ダークエンド”で遊星さんにダイレクトアタックです」

アナウンサー「これが決まれば、遊星のライフポイントは尽きるぞ」

遊星「手札から、モンスターを特殊召喚！”バトルフェーダー”このモンスターはダイレクトアタック時に手札から特殊召喚できそのバトルフェイズを終了できる」

葵「！！！」

遊星は、手札からバトルフェーダーを出した、これにはこの場にいるアナウンサーを含め全員が驚愕したのであった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7706z/>

リトルバスターズ×遊戯王

2011年12月28日00時54分発行